

君の
コンさる

今日も視界良好

vol.052

⑤「遠足@奈良県・少し京都」 中小企業診断士 長尾康行

先日、全員で遠足に行ってきました。当社は毎年2回、社員旅行に行くのですがこのご時世ですので日帰り短時間遠足を実施しました。行先は当社恒例のみみだくじで決めて「奈良県+高級イタリアン」というコースに決まりました。当日は高温多湿で、汗だくになりましたが大仏や鹿を見たあと、東大寺から車で15分程の距離にある京都のイタリアンのお店に移動し、ランチをしてから会社に戻ってきました。出発から6時間半ほどの遠足でしたが、早の間のリフレッシュの時間を設けることができてよかったです。ですが、早く新型コロナが収束して、社員旅行に行きたいと改めて思った1日でした。



⑥「もらって嬉しい! おすすめのタオル」 事務担当 松野あやか

私は新型コロナウイルス感染症の影響で買い物に行く機会が減り、服や化粧品の購入頻度は少なくなりました。最近の休日は家にいることが多く、「おうち時間」が増えたため、毎日のルーティーンである手洗いやお風呂の中で何か少し変えたいと思っているのは私だけではないはず。そこで私がおすすめしたいタオルをご紹介します。タオルと言えば愛媛県の今治タオルや大阪府の泉州タオルも有名ですが、私がご紹介するのは「テネリタ (TENERITA)」というオーガニックコットンを使用したアイテムを揃えるブランドのタオルです。友人の誕生日祝いにプレゼントしたのですが、柔らかくてロゴもおしゃれなので喜んでもらいました。私もバスタオルを購入したのですが、ふわふわの肌触りでぜひ「おうち時間」の楽しみのひとつとしてこのタオルを一度使っていただきたいです!



⑦「習熟段階に応じた対応」 中小企業診断士 木戸貴也

部下に新しい仕事を覚えてもらう時は「①学ぶ→②実践→③応用→④判断」の各ステップに応じて指示の出し方や細かさを変化させます。このサイクルを繰り返すことで習熟度が高まり、できる仕事を増やしていきます。各段階の留意点は下記のとおりです。
 “①学ぶ (初心者・未経験者)” →教えた内容を素直に実行することが求められるため、説明した内容や意図、目的などを理解できていることが重要な段階。学んだことがどのようなものかと質問することで、理解度を図ることができます。
 “②実践 (初級者、実際に業務を行う)” →仕事を覚え、実際に業務を遂行しており、仕事のコツ、ポイントなどをつかむことが重要な段階。できている部分を誉め、もっとうまくいくにはどうすればいいかを考えさせる。
 “③応用 (中級者、仕事を任せられる)” →一通り業務をこなすことができるため、プロセスではなく、結果に責任を持たせることが重要な段階。力量に対して評価していることや何を期待しているのかを伝える。
 “④判断 (上級者、自分で状況判断ができる)” →細かな指示や褒められることをモチベーションとしなくても仕事ができる独り立ちの段階。仕事の進め方や判断は基本的に任せ、最小限の指示だけに留める。良かれと思って指示、誉めたことが逆にモチベーションの低下につながる可能性もある。このように部下の置かれている立場や状況に応じて伝え方や注意するポイントが異なるため、画一的に教育するのではなく個々の習熟段階に沿った対応を心がけましょう。

⑧「正確さ、速さ、丁寧さ」 インターン生 橋本大治

フラッグシップ経営で業務を始めて早くも1年が経とうとしています。はじめは何もできず、自分の能力に悩む日が多かったですが、最近では出来ることも増えてきました。しかし、それと同時に慣れや業務の速さを求める気持ちからミスが増え始めました。特に、ここ数週間は効率や速度を意識した結果、ミスが目立ちました。また、ミスが発生し、やり直す作業も発生したため、効率や速度も逆に低下してしまいました。以前、上司からは「仕事において求められるものは第一に正確さ、次に速さ、最後に丁寧さ」と教わりました。しかし、自身の最近の業務を顧みると正確さがお座成りになってしまっています。どれだけ仕事が速くても前提として正確でなければそれは無意味だと思います。私は元々、焦りや慣れが生じだすとミスが多い性格のため、地に足をつけ、正確さに重点を置き直すべきだと感じました。今一度、初心に帰り、自分の業務を見直してみようと思います。

⑨「秋定皇輝推薦の店」 インターン生 秋定皇輝 (あきさだ こうき) 「swimpond coffee」 京都府京都市左京区浄土寺馬場町1-4」

先日携帯の写真フォルダを見ていると美味しそうなチーズケーキの写真が出てきました。こちらは岐阜県から移住されたご夫婦が営んでいらっしゃるカフェです。午前中はモーニングもあるようですが、私のオススメはチーズケーキと珈琲です。チーズケーキは程よい甘さと濃厚さで珈琲と良く合います。珈琲は、4種の煎りから選べ、鳥取の自家焙煎のものを使用しており、実の息子さんの焙煎所のものでそうです。近くには京都市動物園や哲学の道もありますので、お近くにお越しの際は是非お召し上がりください。



⑩「仕事での達成感」 榎本啓嗣 (ならもと けいじ)

仕事で「何に」達成感を感じるの、人それぞれ違うことだと思います。責任のある仕事を任せられた時、対価である報酬、自分のしたい仕事をできていくなど、人それぞれ仕事に達成感や充実感を感じるものは違うと思います。私は「何に」達成感を感じるか考えた時に、やはり支援した顧客から感謝されることが、一番の達成感であると思います。先日、事業再構築補助金が採択された事業者様から「工場見学に来て一度お話をしたい」といわれました。これまでは遠方であったためZoomのみの打ち合わせでしたが、実際にお会いすると本当に感謝していただきました。弊社では、経営改善や事業再生など経営に苦しんでいる事業者様の支援がメイン事業であるため、事業者様から感謝される回数が増えることが、会社の規模を拡大することに繋がるのだと改めて実感しました。



⑪「地元から最年少金メダル」 中小企業診断士 長尾康行

東京オリンピックのスケートボード、西矢椛 (にしやもみじ) さんが日本史上最年少で金メダルを獲得しました! 西矢さんは私と同じ松原市の出身で、通っている中学校も私の家のすぐ近く! 縁もゆかりもないですが勝手に親近感を覚えています。水泳やバドミントン、体操は金メダル候補やレジェンド的な選手が次々と負けるなどオリンピックの怖さもありましたが、若い世代が伸び伸びとプレーをして結果を出すというのは日本国民として嬉しい限りです。問題山積のオリンピックではありますが、選手に罪はないので閉会まで一生懸命応援したいと思います。



発行元：株式会社フラッグシップ経営 経営革新等認定支援機関

〒542-0081 大阪市中央区南船場 4-12-8 関西心齋橋ビル 8階

TEL : 0120-34-8776

FAX : 06-7635-8214

MAIL : info@flagship-keiei.co.jp

URL : www.flagship-keiei.co.jp



株式会社フラッグシップ経営 Facebook ページ

いいね! お待ちしております。



株式会社フラッグシップ経営 Twitter

@flagship_keiei にて随時情報発信中!

